

# “消費税” ネットニュース

第 70 号 2019.02.26  
発行 消費税率引き上げをやめ  
させるネットワーク宮城  
事務局 宮城県生協連  
TEL : 022-276-5162  
FAX : 022-276-5160  
E-mail:sn.m31660hk@todock.jp

## ●2月23日（土）、宮城県内で消費税増税に反対している3団体（消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城（以下、消費税ネット）・消費税をなくす宮城の会・消費税廃止宮城県各界連絡会）が、『消費税率 10%への引き上げ中止を呼びかける共同街頭行動』を行ないました。

消費税は、1989年4月に税率3%で導入されました。財政再建という理由では国民の理解が得にくいので「高齢化社会」のためと宣伝し、消費税の目的は「社会保障と財政再建」であることを位置づけ、それ以降二大看板となって今日に至り30年が経過しました。その間、1997年に5%、2014年に8%と増税されてきました。

しかし、社会保険費用・医療費の自己負担の割合は増えるばかりで、賃金が上がり手取り収入が増えないなか、社会保障の給付は後退しています。実質賃金は伸びず、家計消費は低迷し、深刻な消費不況が続いています。

このまま税率引き上げが実施されれば、地域経済をさらに疲弊させ、中小企業や小規模事業者の営業を脅かし、雇用不安を招くなど国民生活への影響が懸念されます。

消費者・事業者の実情を踏まえ、2019年10月からの消費税率10%の引き上げを何としても阻止しなければなりません。そこで、消費税ネットは、上記県内3団体共同による「消費税率10%への引き上げ中止」を求める国会請願の署名活動を広く県民に訴えるため、仙台市内街頭にて行いました。

3団体から30人が参加しました。仙台市青葉区広瀬通一番丁交差点付近において、13:00～14:00までの1時間、各団体ののぼり旗を掲げ、各構成団体の代表者によるリレーアピール、「10月からの消費税10%中止を求める」国会請願の署名活動、「消費税率10%への引き上げ中止を求める国会請願署名へご協力をお願い」というチラシ入りティッシュの配布、「消費税シール投票」などを行い多くの方に呼びかけました。署名数は177筆寄せていただきました。



（上から）アピールを行う吉原直美理事（みやぎ生協）、署名活動中の齊藤秋花理事（みやぎ生協：右）、シール投票・街頭行動の様子

### \*\*\*シール投票アンケートの結果\*\*\*

10月からの消費税率10%への引き上げあなたはどちらですか？

中止してほしい	59 (95.2%)
引き上げ賛成	3 (4.8%)
計	62

### 【取材マスコミ】

東北放送・宮城テレビ・河北新報  
赤旗新聞